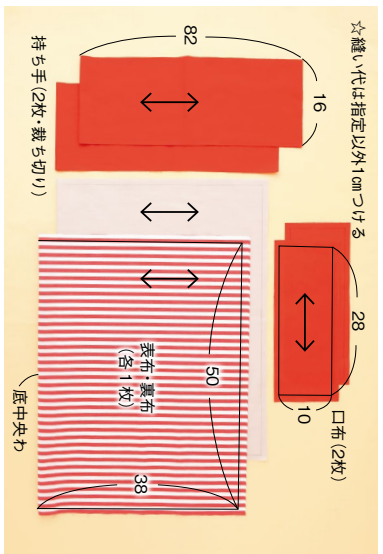




## リボンバッグを作ってみましょう

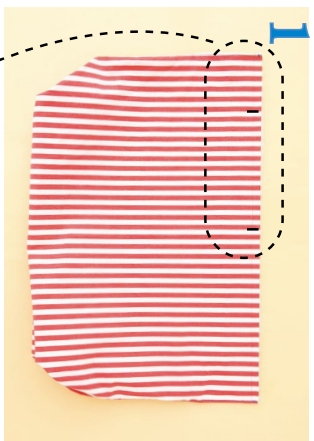
きれいな仕立てのいちばんのポイントは裁断とアイロンかけです。寸法どおりに裁断し、こまめにアイロンをかけることでシツと仕上がります。

※色のバリエーションとして、作品とは違う色で製作しています。  
※わかりやすく説明するため、糸の色を覚えていきます。  
実際に作る際は、布の色に合わせた糸をお選びください。



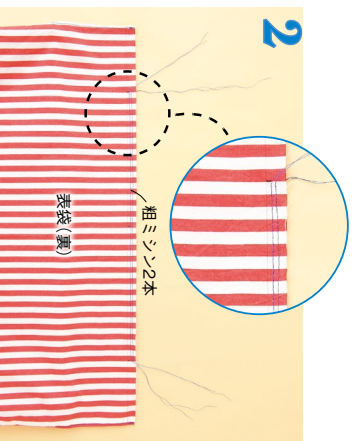
材料 表布 60×85cm、裏布 60×85cm、口布・持ち手 65×90cm。

## 2 ギャザーを寄せます



両脇から8cmの所と中央に合い印をつける。

合い印は必ずつけて



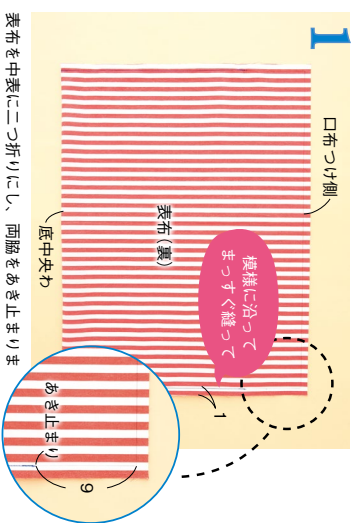
表袋と裏袋を重ねたまま2枚一緒に、合い印から合い印までの縫い代に粗ミシンを2本かける。



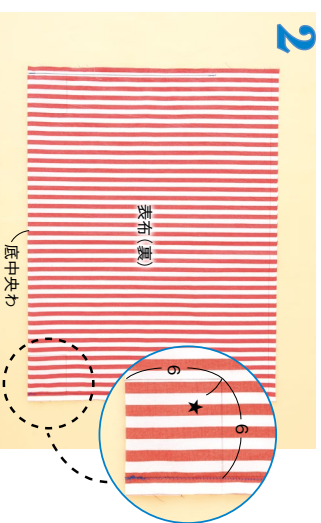
片側の上糸同士、下糸同士を結ぶ。反対側の上糸2本を少しづつ引っぱりながらギャザーを寄せせる。

一気に引くと糸が切れることもあるので注意しましょう

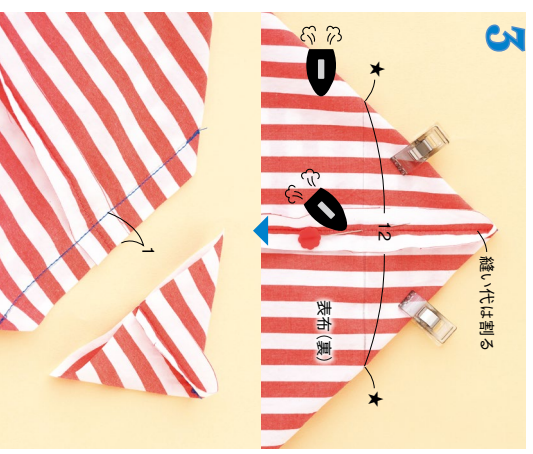
## 1 本体を作ります



表布を中表に二つ折りにし、両脇をあき止まりまで縫う。



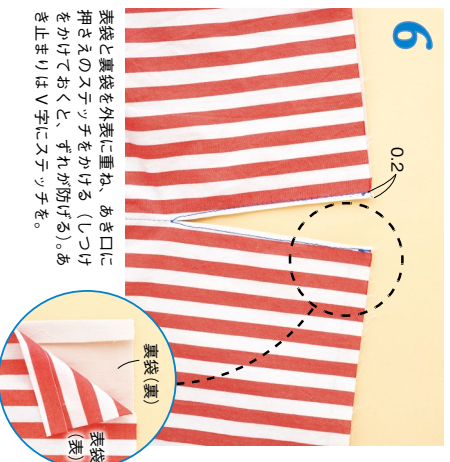
底にまちの案内線を入れる。



まちを縫う。脇の縫い目と底中央を合わせ、案内線の角 (★) が折り目にくるように三角に折り、アイロンで押さえる。案内線の上を縫い、縫い代1cm残して糸分をカットする。



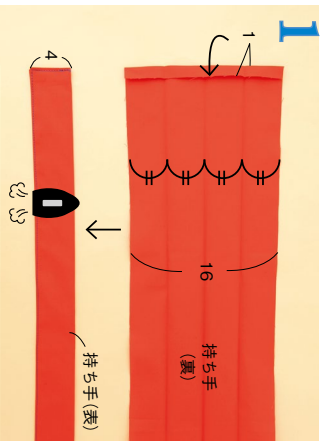
裏袋も表袋と同様に作る。



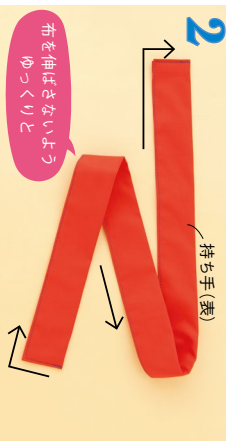
表袋と裏袋を外表に重ね、あき口に押さえのステッチをかける (しつけをかけておくと、すれが防げる)。あき止まりはV字にステッチを。



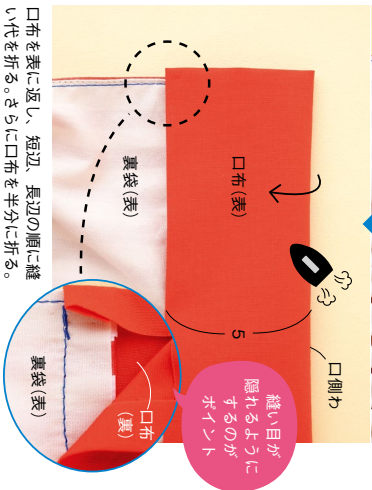
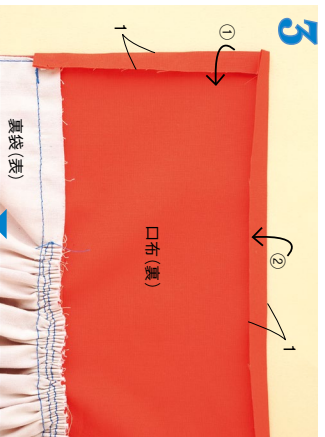
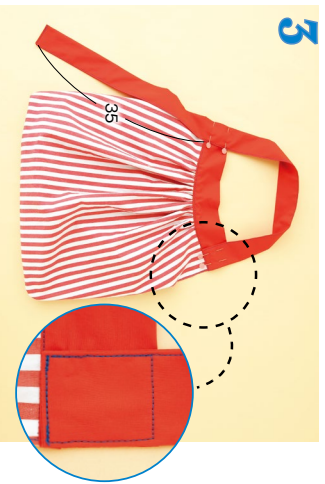
## 4 持ち手を作り、つけます



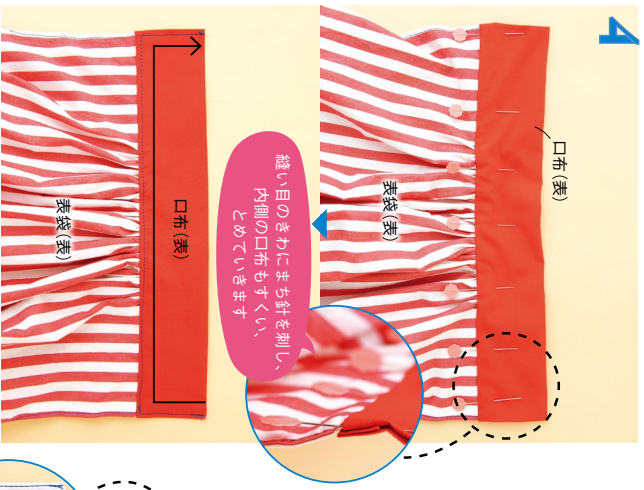
短辺を10cm折り、長辺を四つ折りにする。アイロンでしっかりと折り目をつける。



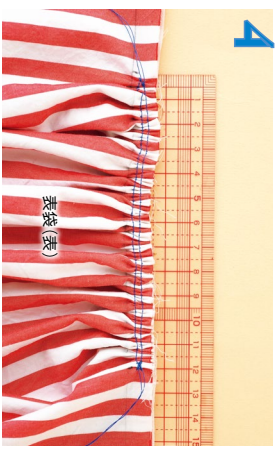
この字に端ミシンをかける。2本作る。



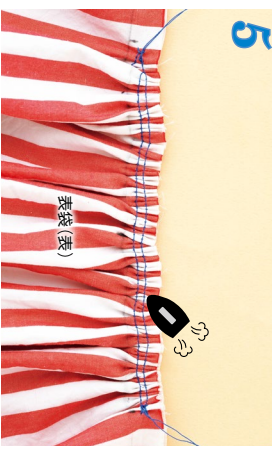
口布を裏に返し、短辺、長辺の順に縫い代を折る。さらに口布を半分にする。



裏袋側からまち針を止め、この字にスリッチをかける。反対側も同様に口布をつける。

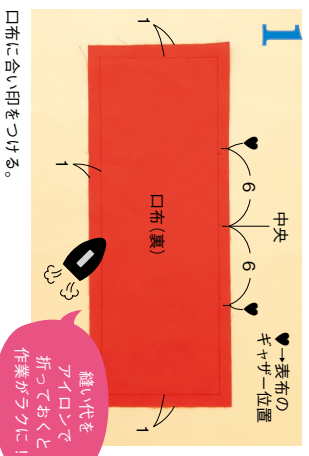


定規を当てて120cmになるまで縮めたら糸を結んでおく。



ギヤザーが均等になるように整えたら、アイロンで縫い代をしっかり押さえてギヤザーを落ち着かせる。反対側も同様に。

## 3 口布をつけます



口布に合い印をつける。

